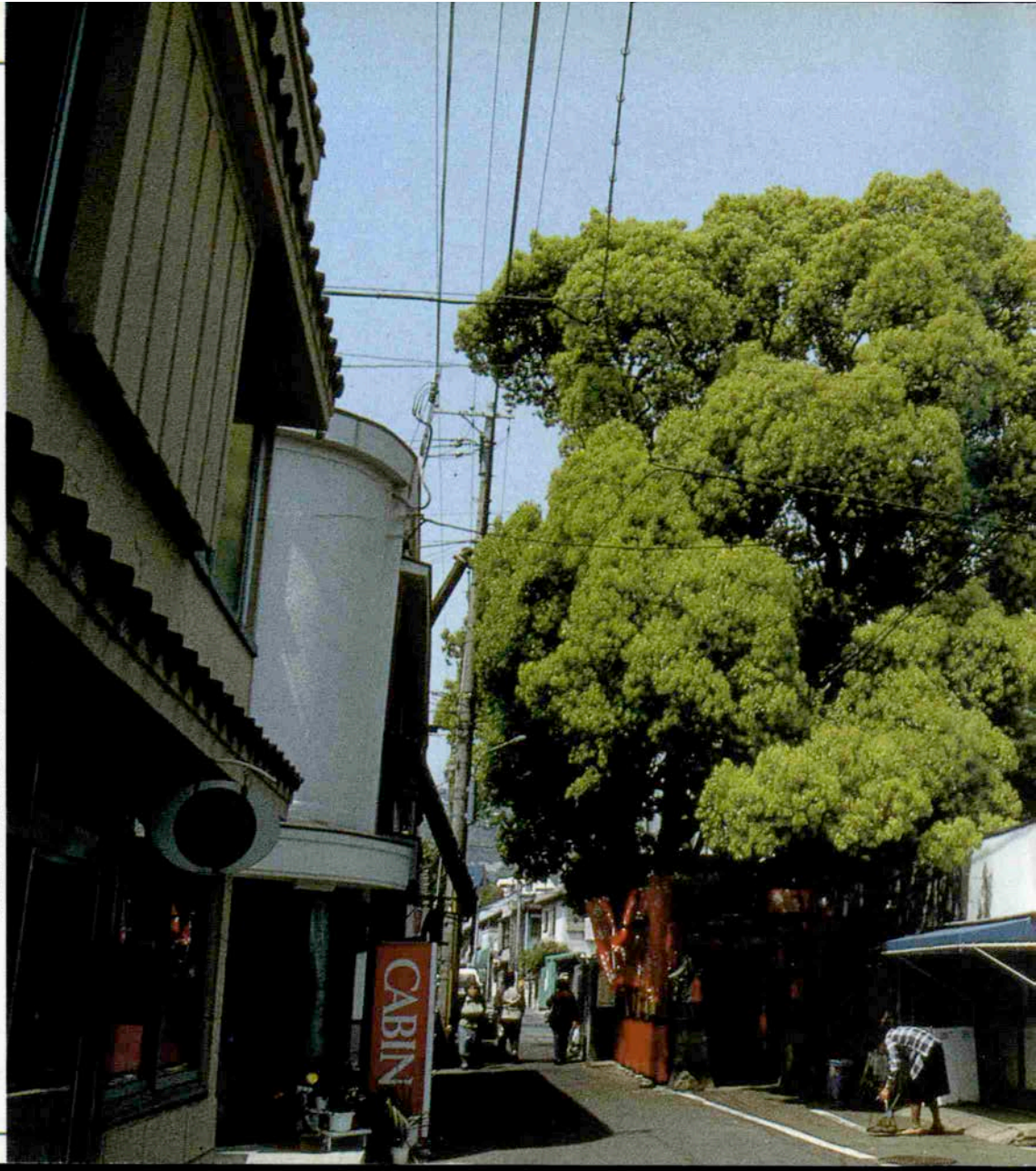


Photo Masao Kobayashi

神戸の名木

楠大神

所在地―長田区西代通二丁目楠稲荷
□市バス中屋敷通五丁目北一〇〇m
道が木を避けてついで居る。
シメナワをはって根株の中に
祠を祭り、地藏盆には近所の
子供達が集る。この木が地域
に生きてゐるあかしです。





旧居留地散歩⑪

PRODUCED BY KOBE DAIMARU



GENIUS GALLERY

ジーニアス・ギャラリー

<水曜定休>

神戸市中央区西町33 / 11:00AM~8:00PM

<ジーニアス・カフェのみ 10:00AM~8:00PM>

●ジーニアス・ギャラリーへのお問い合わせは
大丸神戸店(078)331-8121まで





シマロン/ジーニアス・ギャラリー2階

神戸の街に、散歩が楽しい気持ちの良い春が、まためぐってきました。ジーニアスギャラリーの階段を昇ると、かすかに香のかおり漂う手づくり感覚のユニークな空間が目に入ることでしょ。そこは、パリで注目のカジュアルショップ「シマロン」の不思議な世界です。テーマは、「ラジアルシック」(過激で粋な)。ベーシックなアメリカンジーンズを、パリのトレンド的な感覚でとらえたカジュアル精神は、常に時代をリードする大胆さに満ちあふれています。ほのかに漂う、ある種の懐しい気分も印象的です。



ウエスタンシャツ(総100%).....16,800円
ネックレス(1本).....800円



スカート(総100%).....19,800円
ベチコート(ビスコース100%).....19,800円
セーター(総100%).....9,800円
ストール(ビスコース100%).....8,800円



ジーンズ(総100%).....各15,800円

※表示価格の3%を消費税として別途頂いたします。



教育座談会

ヒューマンな人間教育を

ゲスト

新野幸次郎さん

神戸都市問題研究所
所長

行吉哉女さん

学校法人行吉学園 理事長
神戸女子短期大学

行吉誠之さん

学校法人行吉学園 副理事長
神戸女子短期大学

神戸女子短期大学
神戸女子大学
神戸女子大学瀬戸短期大学



神戸女子短期大学のセミナーハウス キャサリン邸にて

4月1日にポートアイランドへ移転する神戸女子短期大学。新しい一步を踏み出すにあたって、行吉哉女学長（理事長）、行吉誠之副理事長と神戸都市問題研究所の新野幸次郎所長に女子教育について語って頂きました。

新野 4月にポートアイランドに念願の新しい学舎が完成という事で、おめでとうございます。神戸の街は学生諸君にとっては住んでみたい土地のひとつです。そういう意味では場所柄は非常にいいと思いますが、移られたきっかけは何でしょう。

行吉哉 今の場所はもう広げる事ができないので、できるだけ広い所を探しておりました。便利な所がいいと思っていましたら、ちようど分けてもいいというお話があつて決まりました。**行吉誠** 二万一千平方メートルあり、今の4倍ぐらいの広さになります。今までの事を思うと、夢の様な事です。

新野 神戸女子短大を開学されて何年になりますか。

行吉誠 四十二年です。

新野 その長いご経験の中から新しく進出されるにあたって従来の教育方針など、お考えになつておられることがありますか。



新野 吉哉女さん



行吉 誠之さん



新野 幸次郎さん

行吉 哉 今までに神戸女子短大を出た卒業生は皆立派になっています。入学したいという学生も増えていきますし、先輩が作ってくれたいい伝統を引き継いでいく事が大事だと思います。と同時に世の中に役に立つ学校でありたいと思っています。

新野 卒業生の子供が入学されたりつていうのもありますね。

行吉 哉 3代目が来ています。

新野 女子だけの教育をなさる事の意義は深いと思いますが、女子教育の根本は何でしょうか。



ポートアイランドに4月1日移転

神戸女子短期大学

〒650 神戸市中央区中山手通2-23-1 ☎078(231)1001代

神戸女子大学

〒654 神戸市須磨区東須磨青山2の1 ☎078(731)4416代

神戸女子大学瀬戸短期大学

〒709-08 岡山県赤松郡瀬戸町観音寺721 ☎08695(2)3121代

行吉 哉

女性らしい女性を育てていきたいですね。やさしき、美しさは無論の事、学問としての教育研究は必要だと思います。

新野 子供の教育が知識だけをつめこむという風潮ですが、大事なものは人間そのものでして、本当の意味での賢明な、やさしく賢い女性を育てるという事が大事だと思います。

ポートアイランドはファッション関係の企業も集まっています。服装科もあるので共同の仕事で大学らしくお考えになるのもひとつかもしれませんね。

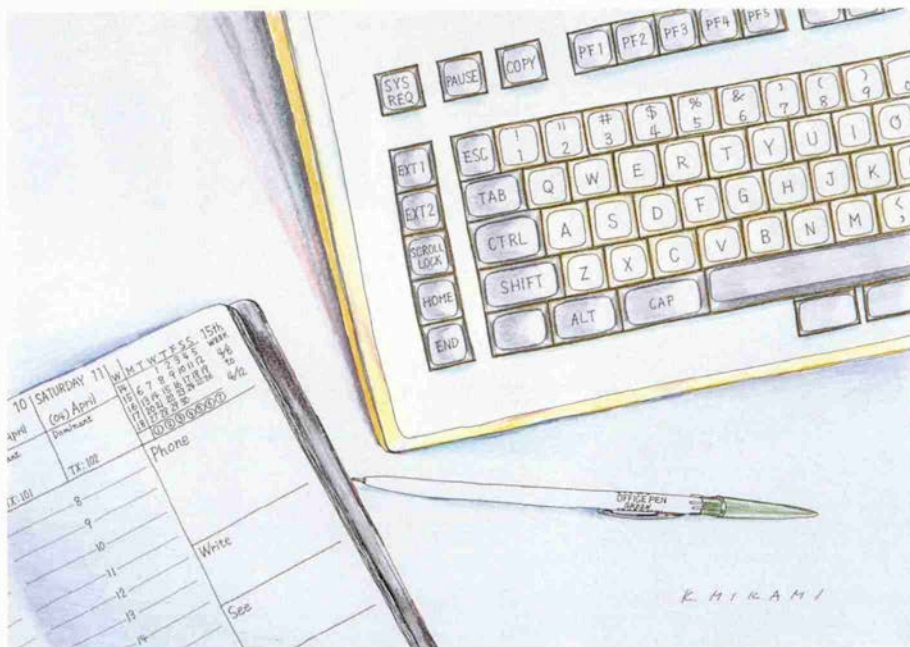
行吉 哉 CAD等を入れてデザインをさせたり、新しい時代に即応した仕事をしていきたいとがんばっております。

新野 これからの大学教育で必要なのは大学設置の理念をしつ

かりおさへ、それに合ったカリキュラムを作り、先生方の間で具体的な議論をして頂く事だと思っていますが、新しい所へ移られたのを契機に今一度、大学設置目的に合った教育をするにはどうしたらいいかを先生方で研究して頂くといいと思います。

行吉 哉 建学の精神、目指すものを教職員全員が理解しておれば、必然的に授業時間だけでなく、普段の指導、助言の言葉からも教育はできますから、そういう風に人間教育ができれば一番いいなと思っています。

新野 先生の方で新しいスローガンを掲げてがんばっているかと期待しています。神戸市民だけでなく日本の女子教育にとってもプラスになると思います。



ファ ー ト ・シ コ レ ク パ シ ョ ン

フレッシュな大人の女性をめざしたい。

仕事を待つ女性にとって、ファッションは与えられた特権だと思ふ。社会の一員として働いているのだから、おしやれに自己投資をするのは当然の権利だし、常には世の中の動きを観察してはいるが、センスも自然に磨かれていく。ただ私をつけるにはいけないのは、場をわきまえたファッションを心がけること。仕事には仕事にふさわしい服があるし、オフィスで働くのに、ボディコンやミニスカを履くはナセンス。きんも女性らしい感性を大切にしたい着なす。仕事用ファッションは他のどんなファッションよりも、キャリアが必要とされるのからしなす。

ファッションと呼ばれる三十代の女性たちの共通した魅力は、仕事用ファッションの着こなし方、キャリアに磨かれたファッションセンスは、同じ働く女性として憧れるものがある。たとえばスウィーツ。テラードでもノーカラージャケットでも、彼女たちがこらわるのは素材の良さ、色やデザインはともシンプルで、とりたてて個性はないけれど、に質で仕立てられれば、それだけで素敵。コーディネートがいろいろ楽しめる、シルクのブラウスを合わせてさらさらとした、スクイフやアセサリーで違う表情を演出したり、一着のスーツをいく通りにも着こなすセンスはさすが。

メリーヒル	三愛
ゲルラン	キャンディッド・マス
ボンフカヤ	メイソンブルー
シス	フューセット
ルーブル・ブライダルサロン	ベネキーン
ダイアナ	ラッキーズ
ミッシェル・克蘭	ハニーハウス
クロードレマ	メンズハルセージ
タカノ	ウィフ
ココ山岡	サンクスクラブ
	ロイス・クレヨン
	アラダグレッツ
	ミシュー
	リップスター
	リーフノット
	フェアリー
	ベネトングッズ
	アトモスフェール
	グリスキー
	アラン・マモキャン
	キャットシモン
	ハウスオブローゼ
	ワコール
	トリンプ
	ラ・パル
	ミセラ
	シエル
	ベネトインナー

FASHION PARK

神戸・三宮さんプラザ、センタープラザ3F

営業時間 am11:00 - pm8:00 PHONE 078-332-1698

第3月曜・定休日

Second Cover ● 街の風景 (24)



関西信用金庫の出入口(1992年) 絵／西村 功

月刊神戸っ子 **31** 周年記念
 第21回ブルーメール賞表彰式
 ・'92神戸酒徒番附表彰式

THE KOBECOCO

Swing KOBÉ

ショータイム
 特別ゲスト

麻鳥千穂
 近衛真理
 瀬戸内美八
 演出
 植田紳爾

春だ! 花満開! 唄と銘酒で CHOO-CHOO-CHOO

世界の酒祭り



植田紳爾



麻鳥千穂



近衛真理



瀬戸内美八

'92 **4月28日**(火)

PM 6:00受付 PM6:30開宴

●第21回ブルーメール賞表彰式

■文学部門 ■ファッション部門 ■美術部門
 ■舞台芸術部門 ■音楽部門 ■神戸っ子賞

●月刊神戸っ子31周年記念セレモニー

・平成4年度神戸酒徒番附表彰式 ・ショータイム
 ・ゲーム ・チャリティ福引大会 ・酒亭PR大会他

●ショータイム 特別ゲスト/麻鳥千穂・近衛真理・瀬戸内美八
 演出/植田紳爾

●神戸ポートピアホテル
 偕楽の間〈本館〉

☎(078)302-1111

●会員券¥15,000

〈神戸っ子倶楽部会員〉¥14,000

トレーナーは
楽しい仲間と
楽しく着たい

植村達長の友人 大月京一さん 戸島和博さん 中田雅明さん

ブルゾン ¥53,000
ポロシャツ ¥13,000
トレーナー ¥13,000
パンツ(ウール) ¥27,000 W S 73/90cm

ジャケット ¥49,000
ジーンズ ¥15,000

ブルゾン ¥56,000

MAC
SINCE 1895 KOBE

HEAD OFFICE 7F NEW CENTER 1-6-22/SANNOMIYA-CHO CHUO-KU KOBE CITY 078-392-1651

SANNOMIYA MAC
THE BLAZER SHOP MAC
DOLCE MAC
FESTA MAC
BENET TON MAC
BENET TON MAC
SUNVIOLA MAC
PLENTY MAC

SANNOMIYA CENTER-GAI 1 078-391-0895
TOR-ROAD 078-391-0896
SANNOMIYA CENTER-GAI 2 078-332-0141
HIMEJI FESTA 2F 0792-89-4738
HIMEJI FESTA 3F 0792-22-1333
AKASHI FORUS 4F 078-913-8142
TAKARAZUKA SUNVIOLA 3F 0797-71-4830
SEISIN PLENTY 2F 078-992-0088

DOLCE

SPRING COLLECTION '92

春の香りは、心にやさしい。



serizawa

KOBE

本店

神戸市中央区三宮町3-1-8
TEL 078-331-1695

●レディス●

本店・さんプラザ店・センター街店
さんちか店・P-4ショップ

●メンズ●

メンズセリザワ

KOBE・OSAKA・TOKYO・KYOTO
HIMEJI・GIFU

お洒落のための特典いろいろ。
1枚のカードから。



セリザワカード

□私の意見

神戸に

芸術ストリート

の創設を

中西 勝

△二紀会常任理事△



普通、美術館というと、いわゆる名品が並べてある所、という印象がありますが、そうではなく、無名の作家や、絵を描くのが好きな人が作品を並べられる、そんな美術館（というよりもギャラリー）が欲しいですね。最近では、文化教室などで絵を習っている人も非常に多いそうですし、そんな一般の人でも気軽に自分の絵をかけてもらうことのできる美術館です。

神戸は海や山、緑に囲まれた、自然の豊富な街で、芸術創造にはうってつけの街です。そんな街なのに、今のところ残念ながら、市立美術館ありません。ポアイや六甲アイランドの埋め立てや、将来的には神戸沖空港の建設、六甲山をくりぬいて音楽ホールを作る計画などもあります。ですから、そういった事と合わせて、美術館も作って欲しいですね。そして、美術館を中心にしてギャラリーが立ち並び、絵を描いたり、楽器を演奏したり、自由に気軽に創造活動ができる、芸術ストリートが出来ればいいですね。各方面に様々な働きかけをしていくつもりです。例えば、フランスのボンビドーセンターなどでは、周辺が一種の芸術村になっています。広場では絵を描いているおじさんや、パントマイムをしている人がいたり、非常にムードのある所です。神戸にもぜひそういう場所が欲しいですね。美を追いかけている人は非常に多い訳です。美というのは個人個人の資質を深めたものですから、様々な違いがあります。それを発表できる場が欲しいのです。例えると、参考書よりも勉強部屋が必要なんです。作家同志はもちろんのこと、作家や市民のコミュニケーションができる場所のことです。

もう一つ、かねがね思っている事なんです。芸術の日をぜひ作って欲しいですね。創造の休日とでも言いましょうか。その日は、老若男女を問わずに朝から晩まで何かを作る芸術のお祭りのような日です。体育の日がある訳ですから、芸術の日があってもいいのではないのでしょうか。創造の輪を広げられる一日なんて、とても素敵だと思いますね。

★月刊神戸っ子31周年記念文化賞／第21回受賞者発表



ブルー・メール賞

副賞各20万円
新谷琇紀制作
海の女神ブロンズ像

小誌は創刊30周年を機に、神戸の文化を推進するために文化賞「ブルー・メール（青い海）賞」を設定いたしました。本年、第21回を迎え、各部門別に選考会を開き、左記6名の方に賞をお贈りすることになりました。副賞には地元企業のご協力により各部門の受賞者に賞金20万円と記念品（彫刻家・新谷琇紀氏による海の女神のブロンズ像）が授与できることを心から感謝いたします。これからも地域社会の中から世界に通じる文化を育むべく、努力精進してまいりたいと存じます。なお、授賞式は4月28日（火）午後6時30分からポートピアホテル・音楽の間で行います。

□文学部門

選考委員

君本 昌久・安水 稔和・伊勢田 史郎



渡辺 信雄

〈詩〉

渡辺信雄の詩の奥処には雪融け水の清冽さに似た澄明なものが流れている。そこには魂の底から止まることなく滲み出ている血が混じっている。紡ぎ出される悲傷の詩群は彼のもつ本質的な優しさからくるのであろう。人間存在の不条理を揚棄しようとする心の動きもある。有望な詩人だ。

△伊勢田史郎▽

□音楽部門

選考委員

小石 忠男・柴田 仁・出谷 啓



中野 慶理

〈ピアノ〉

中野慶理の最近の活躍は質量ともに注目すべきものである。特に昨年の秋のリサイタルでは、ロシア音楽を集めた至難の曲目を創意あふれる解釈で演奏し、鮮烈な印象を与えた。その成熟を高く評価したいピアニストである。

△小石忠男▽

□美術部門

選考委員

赤根 和生・増田 洋・乾 由明・伊藤 誠



坪田 政彦

〈絵画〉

坪田政彦は線描の造形を一貫して続けてきた。作品の形式はドローイングと版画の両方に分かれるが、徹底して手の作業にこだわっている。私は彼の作品を古典的ドローイングに対する、現代美術としてのドローイングの典型型として感じる一人である。みごとに世界だ。

△増田洋▽



木津 文哉

〈絵画〉

すばらしい描写力と、複数の画材を併用した独自の絵画技法で、個性の強い表現を行い、まことに印象深い作品を創造している。当年三十四歳、多くの可能性を秘めた、具象系画壇の大型新人と呼ぶのにふさわしい。

△増田洋▽

□ 舞台芸術部門

選考委員

佐野 漣箕・名生 昭雄・岡田 美代



花柳芳圭次

△日本舞踊▽

△名生昭雄▽

幼少のころから日本舞踊に親しみ、花柳芳次の指導の下に着実に技量を身につけ古典舞踊に習熟し、27回の「圭柳会」の発表と、地域社会における小学生や主婦への地道な教育活動とは、「日本の心」を育む点で高く評価できる。

□ ファッション部門 — 選考委員

福富芳美・重兼 亘・藤本 ハルミ・小泉 美喜子



丹野最世子

△ファッションデザイナー▽

△藤本ハルミ▽

丹野さんは、デビューした時から、明るく、底ぬけに楽しい南国の太陽のような個性を持っていた。昨年三月のKFM中日友好ファッションショーで、今迄未開発であった東洋の美に挑戦し成功した。ますます伸びてほしいデザイナーである。

第二回受賞者発表

神戸っ子賞

選考委員 小笠原 暁・米花 稔・石阪 春生・小泉 康夫

小誌は創刊30周年を記念して「神戸っ子賞」を設立いたしました。分野を問わず、永年の活動の蓄積によって、神戸文化の振興とイメージアップに功労のある方に賞を贈らせていただきます。副賞として、ブルーメール賞同様、地元企業のご協力により賞金20万円とブロンズ像が授与されます。



朝比奈 隆

△指揮者▽

世界的に活躍され、50年以上楽団の指揮をされている。神戸を愛し、神戸に住まれ、音楽だけでなく都市などの事にも関心を持っておられる。指揮者として世界最高齢にも関わらず、その情熱とパワーは素晴らしいものです。

△小笠原 暁▽

★ブルー・メール賞協賛企業

財団法人 井植記念会

株式会社 木下真珠にしむら珈琲店

UCC上島珈琲株式会社

神戸地下街株式会社 バンドー化学株式会社

株式会社 エルアイシー

株式会社 シヤルレ バンドー化学株式会社

株式会社 大月真珠

角南商事株式会社 株式会社 森真珠

オールスタイル株式会社

株式会社 大丸神戸店 株式会社 山勝真珠

関西信用金庫

田崎真珠株式会社 ワールド

△社名50音順▽

随想 二題



の木を植えようかしらん、と言わせたほどである。
嫁がせた娘を気にかけるように、Mさんは不器用な私にかわって、毎年、枝の刈り込みに来てくれていた。こうするとアブラムシがつかないから、と言ってアルミ箔を短冊のように吊してもくれた。

そのMさんがこの一月、ガンのため逝ってしまった。去年の夏、会ったとき、思うようによくならないのでつらい、というMさんに、大丈夫、涼しくなればきつと調子を取り戻すから、と言いながら、その言葉の空虚さに私自身、氣付いていた。

今年、桃が実をつけたら、一番にMさんの霊前に供えようと思っている。

Mさんのくれた

桃の木

白石 美保子

〔第16回神戸文学賞受賞〕



庭の片すみにある桃の木が、今年もそろそろつぼみをほころばせ始めた。この木が我が家の庭にこし入れして、もう四年が来る。

生家の庭は、つつじやぼたんの花に混じって、いろいろな実のなる木が植えられていた。びわ、ゆすらうめ、富有柿、いちぢく、そして、桃。

それらは四季折々、甘い実を結び、食糧事情の悪かった昔、家族三人の胃袋を十二分に満たしてくれたものだった。

その家もやがて人手にわたり、時たま、通りすがりにのぞき見る庭は、昔のおもかげなどまったくなく、一面に芝がしかれ、ゴルフ

の練習用ネットがはられている。だからというわけではないが、私たちが新しい家を建てた五年前、庭にはどうしても実のなる木を植えたいと思った。

もぎたての、甘さのしたたるような果実を、子供たちに味あわせてやりたかった。

そうした思いのエッセイを、地方新聞の片すみに『庭』と題して載せたところ、数日後、それを読んだ、といって近所に住む、お年寄りのMさんが、大切に育てている桃の木を一本、我が家の庭に持ってきて植えてくれたのである。

旧暦、三月、ひととき濃い桃色の花を咲かせた木は、七月、つまむと指の跡がつきそうな、柔らかい実をつけた。

それはまさに水蜜桃の名にふさわしい味で、おすそわけした知人に、こんなおいしい実がなるなら、庭の松の木を取り払って、桃



春を告げる桃の木。 撮影／鈴木 勝男

旧制中学考

細見 成男

〈代表取締役〉



春は又入学シーズンでもある。昭和23年春で最後となった旧制中学であるが、25年廃校となった後も毎年寮歌祭が催され懐しむ旧制高校に較べやや感慨が薄いのはその多くが新制高校として変貌継承されているからでは。旧制高校への進学は5%以下、旧制中学でも三割以下で現在の大学への進学率にも及ばない。

ここで県下並神戸市内の旧制中学につき考証してみたい。明治8年篠山藩校私塾として発足の鳳鳴中学、明治11年に創設、20年に県立校第一号となった姫路中学が古く、29年に神戸一中、豊岡中が創立されている。10年の神戸師範、19年の神戸商業があるが、旧制中学としては姫中が最古とされる。

一方東大は明治10年の創立、小学校となると番町小（東京）、洲本、東小など創立120年を祝っており、維新後草創の教育立国への姿勢が伺える。旧制六高（現岡山）は34年の創設、東京府立一中・京都一中、神戸一中の当時の俊才は殆んど旧制一高、三高を屈指したのである。時代の制度状況からであろう。

神戸市内は勿論一中の29年が最も古く、二中は一中校長兼務で41年に、三中は1910年、昭和に入って四中（現星陵高）、又作家野坂昭如氏出身の市中神戸中（現葦台高）は昭和14年にできた。

とある宴席での小泉編集長の寸言。「一中は神戸に居つかん。二中、三中は地元に着して活躍してくれる。東山・小磯画伯や中内さん等々。一中出身は井深さんら皆東京や」。又最近の週間朝日で偉大な神戸市長宮崎辰男氏を生んだ神戸三中は自由な気風、リベラルな雰囲気であったが、一方神戸一中と云うカラー色の制服にゲートル姿、昼の弁当は立食いと云う野蠻でスパルタの校風の学校があったと。これは当時の一中池田校長が英国に学んだリベラリストに拘わらず、大正から昭和にかけての軽佻浮薄な風潮に抗し、質素剛健の校風をうちだし、当時すでに旧制高校合格数（今なら東大、京大合格数か？）が東京一中を抜き日本一となった青白き秀才校を、運動部も強化、蹴球・野球・排球等でも全国制覇を遂げたことにも由来し週間朝日の評は必ずしも当を得ていない。しかし一方では官界・学界・中央財界に進む者多く、地元回帰が少なかった為小泉女史の指摘も否めない。受験戦争下、果では私高公低とも伝えられる。

灘高出身者の親は息子達が郷里に帰ってくれないと嘆く。かつての一中の轍を踏むのではと懸念する。

小泉編集長は一面、兵庫・長田高に比しても最近の神戸高校出身者の地元文化への貢献を評価しておられる。百周年を控えた神戸高同窓会（会長松下太神三井銀行会長）は地元で立脚して国際化にも貢献する事業を検討中とか。グローバル路線こそ目指すべき全校の方向性ではなからうか。

※注 グローカル化：グローバル化（地球一体化）とローカル化（地方化）の合成語。



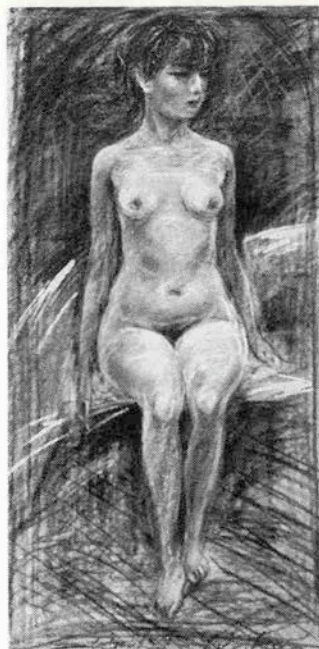
神戸一中立食い弁当風景

□ エッセイ

カラスに なりたい

青木はるみ〈詩人〉

カッタ・杉浦祐二



ぶらりと神戸に行く。奈良に住んでいる私が出かけるには丁度よい距離。何といっても神戸のあのエキゾチックなムードは、日常べったりの私の感覚を切り離す格好な方法となっているのかもしれない。神戸生まれの私にとって、帰巣本能のよいうなものかなと思うこともある。

栄光教会や兵庫県庁界隈の道を一人でぼんやり歩いたりしていると、限りもなく感傷的になってしまう。けれども若い日の感傷にはほど遠く、自分の姿に決して酔えるものではない。無目的なのはいいが、それでもある種の方法を選んで自分に慰謝を与えないと、単なる感傷どころか手ひどい落ちこみを味わうことになってしまうのだ。

春とは名のみ、寒風がコートの裾を容赦なく巻きあげる日。なぜか私は相楽園の庭に立ちつくしていた。正門から入ってすぐ圧倒される景観は蘇

鉄林であり、いわば地球とは別の天体に不意に舞い降りたような感覚。しかもその蘇鉄林を更に威圧している楠の大樹に私は激しく心をとらえられたのである。

人影は無く、正直いって私は淋しかった。骨の髄にひびくほど淋しかった。

もしも、と私はいつもの茶目っ気を辛うじて発揮して考えた。もしも恋人といっしょにこの楠の大樹を見あげているのだとしたらどうだろう。そんな仮定があまりにも見栄張りであるとすれば（ここまでの仮定で私はチョロリと舌を出したのだが）親友はどうか。家族はどうか。

もちろん考えるまでもないのである。淋しさの質が異なることだけは明らかだった。

足もとには、おびただしい木の実の粒々が散乱していて、つぶれた実からどす黒い汁がにじみだ

している。もう一度桶を見あげるとカラスが二股のところへ気持よさそうにおさまっている。どこまでもモノクロームの光景なので、かなり目が慣れてからでないとカラスの姿を見付けることはできない。そうだ。カラスはあくまでも一羽で居たいのだと私は考えた。とたん、羨望の気持がこみあげてきた。

カラスになりたい。

この世の余分なものの厄介なことを全部放棄すれば、あの美しい樹の枝で生きていけるだろう。

生きてはいけるとしても、あんなに黒い木の実をついばむのは嫌だし、と思ったとたん今度はほんとうに滑稽にも自分の空腹に気付いたのであった。そうなれば、もうどんなミナト神戸のチャイナタウンへまっしぐらである。まさに羽を生やしている具合。

台湾屋台料理の店がお目あて。じっくり煮込んだ甘い肉のっている担仔麵と、柔らかな生地に肉、高菜、香草を包みこんだ熱々の刈包が大好物なのである。暖まってみれば、ついさっきまで、あんなにも深刻にカラスになりたいと思ったのがウソのよう。第一、私は服装のなかでも喪服が大嫌いなのである。相楽園の池には優雅な白鳥もいたのに、どうして白鳥になりたいとは思わなかったのだらう。

さて元氣になった勢いで、元町通りでショッピングしようと思いたつと更に元氣になってきた。

神戸でいわゆる「お派手靴」を買うのは今や常識。私はあえてハンドバッグをさがすのだ。実は横浜の中華街にある本店でKマークのロマンティックなバッグを買ったことがあるのだが、関西で

は支店が一店のみこのあたりにあるはずなのだ。さて、ありました。ありました。この世の余分なものの厄介なことを全部収納するハンドバッグがありました。

まあ、それほどではないが、小さな夢を託すことのできるバッグなのである。つまり私は横浜の本店でカタログを買っていたのだが、そのなかに洋犬のレリーフを細工した品があることを知っていたのだ。それを欲しいなと思いながら二年半ほど時が過ぎていた。洋犬の種類は、パゼット・ハウンドのようでもあり、ゴードンセッターのようでもあるが、ともかく耳を垂らした利発そうな犬の横顔がデリケートな立体で浮きあがり、素敵な細工なのだ。

ところで店内には、大きなボストンバッグにこの犬のレリーフが施されているのもあり、色彩もカラフルなのだが、私の欲しいページジュのポシェット型は、結局のところ注文をして代金を払い、それから製作にとりかかるということで、自宅に届けられたのは二週間ほどあったらうか。

いま犬の耳のふさふさした毛の束が彫られているところかな、可愛い鼻の穴ができたかな、などと想像しながら待っているのも、なかなか楽しいものであった。到着したときの嬉しさも格別であった。カラスのイメージがなぜ犬に変貌したか。その顛末もいずれ忘れるだろう。